

脳・手の動き 現場で検証

データベース使い早期発見も可能に

高齢者専用のリハビリマシン「リハトレナー」を開発したシステム・インストルメンツ(東京都八王子市)が、脳の活性化を図る新商品「脳活リハ まゆっこ」(以下、「まゆっこ」)の販売を4月1日に開始し、5月から納品が始まった。販売は子会社のサロンオールドエイズ(東京都中央区)が行う。

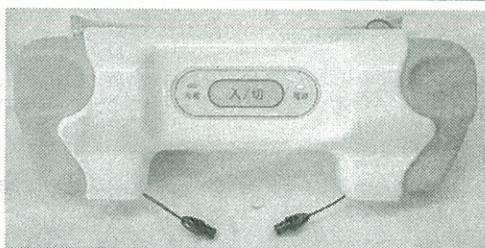


サロンオールドエイズ
伊藤 巨
執行役員

「まゆっこ」は、リハビリの現場において脳の動きの検証を可能にする。筑波大学システム情報工学星野研究室との共同研究で、入力・出力情報の関係から個々のデータベースを作り、その時系列のデータの比較で身体の異常を見つける機器として実用化した。

「まゆっこ」はコン

トローラーを両手で持ち、テレビに映し出されるリハビリ映像(情報)に合わせて動くゲーム感覚でリハビリを行える。視覚で得たリハビリ映像(情報)に対する指示応答性や、手の動作の角速度、位置情報、可動範囲、安定性、滑らかさ、指の握る強さやバランスなどを様々なセンサーで測定する。所要時間も5分と使いやすい。「リハトレナー」は主に下半身の機能の維持・改善・向上が目

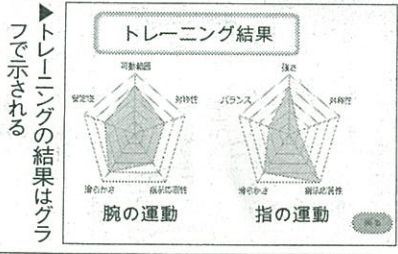


「脳活リハ まゆっこ」のコントローラー

どのような変化が起きているのかを把握することで脳や手の異常を発見でき、早期受診もすすめられるようになる。より大きなデータベースを持つことで年齢別や平均での検証も可能になる。

「まゆっこ」は年内15台の販売が目標。販売するサロンオールドエイズの伊藤巨執行役員は「まゆっこ」リハトレナーを併用することで脳を含めた身体全体のリハビリを行うことができる。リハトレナーで取り引きのある介護事業者以外からも「まゆっこ」について多くの問い合わせが寄せられており「滑り出しは順調。高齢者住宅などでもレクリエーションを兼ねたりリハビリの一環として活用してもらいたい」と呼びかけている。

「まゆっこ」は、日常生活では洗顔・歯磨き・食事など手の動作も重要なことから、脳と手の動きを検証する「まゆっこ」の開発に着手。システム・インストルメンツの菅澤清孝社長は「目で見たモノの情報が脳に入り、脳からの指令で動く手の動作の仕組みから考えるに、思うように手を動かすことができない場合その異常が脳と手のどちらにあるのかを検証できれば、より適切なリハビリや処置を施すことができるようになる」と話す。



▶ トレーニングの結果はグラフで示される